福知山市立図書館　令和６年５月発行　No.132

としょかんだより

開館時間：10時～18時
（中央館は火～金：20時）
休館日：毎週月曜日、
年末年始、その他臨時休館
（分館は国民の祝日・休日）

（中央館）TEL 22-3225　FAX 22-7118
（三和分館）TEL 58-4715　FAX 58-4716
（夜久野分館）TEL・FAX 37-1066
（大江分館）TEL・FAX 56-1017

図書館開設100周年

今年は福知山に図書館ができて１００年です。また、福知山駅前の市民交流プラザふくちやまに中央館が開館して１０年の節目の年です。記念イベントがもりだくさん！みなさん参加してくださいね。

100th & 10th
記念イラスト

福知山市立図書館の歴史

スタート！

1924年 大正13年
惇明小学校の一室で福知山町立図書館がはじまる

1946年 昭和21年
御霊公園の迎賓館に移転、福知山市立図書館になる

1953年 昭和28年
大江町図書館がはじまる

1972年 昭和47年
福知山市立図書館が市民会館の1階に移転

1986年 昭和61年
夜久野町に図書室ができる

1990年 平成2年
三和町に図書室ができる

2006年 平成18年
三和町、大江町、夜久野町が合併して分館になる

2014年 平成26年
中央館が市民交流プラザふくちやまに移転

ゴール！

2024年 令和6年
図書館開設１００周年

今回のテーマ

やりたいことの見つけ方

学校生活や将来に目標があるってステキ！

『おじょうさま小学生はなこ　4　VSしょうらいのゆめ』

（川之上　英子, 川之上　健／作絵, 岩崎書店）

宿題で出された作文『しょうらいのゆめ』がなかなか書けないはなこ。ともだちのゆめを聞いたり、お母さまのアドバイスでいろんなお仕事の服を着てみたけれど決められない。はなこの世話をしてくれる執事のヨシザワにヒントをもらい、見つけたゆめは…。

『ジュディ・モードのやりたいことリスト』

（メーガン・マクドナルド／作, 小峰書店）

ある日、おばあちゃんの「バケツリスト」（死ぬまでにやりたいことリスト）を見つけたジュディは、「4年生までにやりたいことリスト」を作ります。失敗続きでなかなか消せないリストにあきらめず、周りの人の力を借りながらもがんばるジュディのお話です。

『今日もピアノ・ピアーノ』

（有本　綾／作, Gakken）

お母さんにゲーム機を没収された海斗。浮かない気持ちで塾に向かう途中、駅でピアノを弾くおじいさんに出会う。気になって通ううちに、なりゆきでピアノを習うことになって…。

ストリートピアノから始まる少年の「出会い」と「変化」のものがたり。

福知山市立図書館

児童おすすめの本

『図書館のぬいぐるみかします　1』

（シンシア・ロード／作，ポプラ社）

　にんぎょうのアイビーは、アンの誕生日に家にやってきました。アンが大人になってからは、本のように借りることのできる図書館のぬいぐるみ〈ブック・フレンド〉になり、一人の女の子にであいました。ぬいぐるみ遊びなんかしないと言っていた彼女は…。

『放課後ミステリクラブ　1　金魚の泳ぐプール事件』

（知念　実希人／作，ライツ社）

　夜、学校のプールの中で、たくさんの金魚が色鮮やかに輝きながら泳いでいた。誰がいったい何のためにこんなことを？翌日のプールの授業は自習となり、4年1組担任の真理子先生は、クラスのみんなから『ミステリトリオ』と呼ばれている3人に調査を依頼した。

『人間になりたかった犬』

（今西　乃子／作，新日本出版社）

「人間を救った犬なら人間に生まれ変わることができる」という言い伝えがある犬童神社の飼い犬シロは、7回生まれ変わっても犬のまま。そこで50年前に神社で犬として飼われていた宮司の尊に人間の姿に変えてもらい、人助けとはどういうことかを学ぶことに。

『あした話したくなる大人も知らないことばの世界』

（青木　伸生／監修，朝日新聞出版／編著，朝日新聞出版）

　ものさしと定規ってどうちがう？月はなぜ「つき」というか知ってる？身近な言葉でも実は知らないことがいっぱい。大人でも「そうだったのか！」と思わず叫んじゃう言葉の世界。読んだらきっとあなたも誰かに話したくなることまちがいなし！

福知山市立図書館

ティーンズおすすめの本

『さみしい夜にはペンを持て』

（古賀　史健／著，ポプラ社）

居場所がないぼくの毎日を救ったのは、公園の片隅で、偶然出会ったおじさんとの10日間あまりのできごとだった。自分の気持ちを見つけるために日記を書き始めたぼくは…

『フォグ』

（マルタ・パラッツェージ／作，岩崎書店）

産業革命最中のロンドン。ストリートチルドレンのクレイは、サーカス団で虐待を受けているオオカミ、フォグに出会い心ひかれる。命をかけてもフォグを森に帰したいと誓うクレイ。クレイとフォグの逃走劇の行方は？

『アップサイクル！』

（佐藤　まどか／作，ポプラ社）

夏休みのグループ研究で、丈、紫月、王ちゃんが集まった。使われなくなってゴミとして集められているものを、どうにかして使えるものにできないか。そして、それを活用するには、どうすればいい…？周囲の助言を得ながら奮闘する３人の物語。

『翼をもたない私たちは、それでも空を飛びたかった。』

（山下　君子，麻希　一樹，橘　つばさ／著，Gakken）

両親の離婚で大阪に引っ越してきたあずみ。心を閉ざし、強がりで固めた毎日。人とのかかわりに戸惑いながら弱さを受け入れ、光を見出すことはできるのか。思春期の心の揺れを描いた全3編。